

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法によっております。

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産

定率法によっております。耐用年数は5年です。

無形固定資産

定額法によっております。耐用年数は5年です。

(3) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金及び短期金銭債権債務(短期貸付金及び短期借入金を除く)を含めております。

2 次期繰越収支差額の内容は次のとおりであります。

科目	期首残高	当期末残高
現金預金	82,663,685	173,421,062
棚卸資産	0	699,331
未収金	119,826,211	51,371,976
前払費用	3,861,734	3,933,248
立替金	175,560	0
預り基金特定資産	453,292,262	667,323,369
合計	659,819,452	896,748,986
未払金	109,916,601	114,307,736
未払法人税等	70,000	70,000
未払消費税等	15,211,400	9,885,100
預り金	13,110,794	11,915,226
預り基金	447,948,340	671,972,850
合計	586,257,135	808,150,912
次期繰越収支差額(期首資金有高)	73,562,317	88,598,074